

99-256

問題文

80歳女性。軽度のアルツハイマー型認知症と診断され、ドネペジル塩酸塩(5mg/日)で内服治療を続けてきた。認知症が進行し、10mg/日に増量しても効果が認められなかった。そのため医師より中等度から高度アルツハイマー型認知症の適応をもつ併用可能な薬剤の相談を受けた。

問256

推奨すべき薬剤の成分はどれか。1つ選べ。

1. ガランタミン臭化水素酸塩
2. リバスタグミン
3. メチルフェニデート塩酸塩
4. メマンチン塩酸塩
5. アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物

問257

前問で推奨された成分の作用機序として、正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 脳エネルギー代謝の賦活
2. アセチルコリンエステラーゼの可逆的阻害
3. ニコチン性アセチルコリン受容体の刺激
4. グルタミン酸NMDA受容体の非競合的遮断
5. プチリルコリンエステラーゼの可逆的阻害

解答

問256：4問257：4

解説

問256

中等度から高度アルツハイマー型認知症の適用をもつ薬剤はメマンチン（メマリー）です。

以上より、正解は 4 です。

ちなみに、選択肢 1 ですが
ガランタミン（レミニール）は、軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症に用いられる薬です。

選択肢 2 ですが
リバスタグミン（イクセロン、リバスタッチ）は、経皮吸収型のアルツハイマー病治療薬です。軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症に用いられる薬です。

選択肢 3 ですが
メチルフェニデート（リタリン、コンサータ）は、ナルコレプシー（病的眠気）や注意欠陥／多動性障害（ADHD）に用いられる薬です。

選択肢 5 ですが
アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物（アデホスなど）はめまいなどに用いられる薬です。

問257

メマンチンの作用機序は、グルタミン酸 NMDA 受容体の非競合的遮断です。

以上より、正解は 4 です。

ちなみに、本問患者が服用していたドネペジルの作用機序は、選択肢 2 のアセチルコリンエステラーゼの可逆

的阻害です。